

ぐんま広報

県対人前男女世帯数 : 1,959,332人
口月 : -341人
 : 967,704人
 : 991,628人
 : 789,444世帯
(県移動人口調査:平成29年7月1日現在)

No.340
2017 9



発行：群馬県広報課 〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 ☎ 027-226-2162 ☎ 027-243-3600
県ホームページ <http://www.pref.gunma.jp/>

県内のイベント情報をお知らせしています。
「ググっとぐんま公式サイト」(ググっとぐんま観光宣伝推進協議会ホームページ)
<http://gunma-dc.net/>



カスリーン台風で被災した現在の前橋市・荒砥川付近の様子

特集

いざというときのために 地域防災力を高めよう

昭和22年9月に発生したカスリーン台風は、利根川を決壊させ、関東全域に甚大な被害をもたらす。県内で592人が亡くなりました。また近年でも、豪雨による河川の氾濫や土砂災害などが全国各地で発生しています。災害はいつどこで起こるか分かりません。災害の恐ろしさを改めて認識し、普段から備えておくことが大切です。

増える大規模災害

近年、全国各地で豪雨による河川の氾濫や土砂災害、地震などの災害が発生しています。特に局地的な豪雨による大規模な災害が増えています。

発生年月	災害名	主な被害
平成7年1月	阪神・淡路大震災	兵庫県神戸市などで最大震度7を記録。死者6434人。大都市直下で真冬の早朝に起きたため、大きな被害となった
16年7月	新潟・福島の中震	新潟県中越地方で堤防が決壊。死者16人。民家が倒壊・流出した
16年10月	新潟県中越地震	旧川口町で最大震度7を記録。死者68人。土砂災害により旧山古志村などが一時孤立した
19年9月	台風第9号	関東などで大雨・暴風被害が相次いだ。死者1人。本県でも甘楽町で総雨量594mmを記録。負傷者4人。西毛地域で道路崩落により集落が孤立した
23年3月	東日本大震災	宮城県栗原市で最大震度7を記録。死者1万9千人超。東北地方沿岸を津波が襲った。本県でも桐生市で最大震度6弱を記録。死者1人、負傷者41人
26年8月	広島での豪雨・土砂災害	局地的な大雨により広島市で住宅地付近の山が崩れ、大規模な土砂災害が発生。死者77人
27年9月	関東・東北豪雨	関東で総雨量600mm、東北で500mm超を記録。死者8人。茨城県常総市では鬼怒川が決壊し、市街地に水があふれた
28年4月	熊本地震	益城町で最大震度7を記録。死者247人。九州各地で土石流などの土砂災害が発生した
28年8月	台風第10号	東北・北海道で記録的な大雨・暴風となった。死者22人。岩手県岩泉町のグループホームに濁流が流れ込み、利用者9人が死亡した
29年7月	九州北部豪雨	福岡・大分県で観測史上最も多い記録的な雨量を観測。死者36人。河川の氾濫や土砂崩れなどが発生した

本県の地理的な特徴と災害

群馬県は、面積の約3分の2を山地が占めています。このため、県内を流れるほとんどの河川が急流河川です。このような地形の特徴により、過去にも台風などで河川が氾濫し、河川沿いにある道路や集落が大きな被害を受けました。

また地震については、本県を震源とする大規模地震は、近年発生していません。しかし、県内には地震を引き起こす可能性のある活断層が複数存在し、今後大規模地震が発生するかもしれない。また県内には日光白根山や草津白根山、浅間山などの活火山があり、噴火に対する警戒も必要です。

とする大規模地震は、近年発生していません。しかし、県内には地震を引き起こす可能性のある活断層が複数存在し、今後大規模地震が発生するかもしれない。また県内には日光白根山や草津白根山、浅間山などの活火山があり、噴火に対する警戒も必要です。

災害に備えるために

災害はいつどこでどのように発生するか分かりません。また災害が発生すると、私たちの生活に大きな影響を及ぼします。

日頃から災害に備え、災害が発生したときにその被害を最小限にするため、県は「県地域防災計画」に基づき、さまざまな対策をしています。

① 災害に強い県土づくり

洪水や土砂災害を未然に防止するため、河川の改修や砂防事業などを計画的に進めています。また避難場所や避難所となる体育館、公民館など公共施設を整備しています。

② 迅速かつ的確な災害応急対策

災害に備え、救助・救急・医療・消火活動体制を整備する他、住民や関係市町村などに対する情報の伝達手段を充実させます。

③ 県民による防災活動の推進

自分の身は自分で守ること(自助)が防災の基本です。そのため県は、防災知識の普及に努めたり、自主防災組織の育成強化など、県民の防災活動の環境を整備したりしています。

災害を防ぎ、被害を軽減するには「自助・共助・公助」の連携による地域防災力の向上が欠かせません。その具体的な取り組みを紹介します。

地域防災力を高めよう！

地域防災力を高めるための三つの要素として「自助」「共助」「公助」があります。大規模災害が発生した場合、一つの要素だけでは被害の拡大を防ぐことはできません。これらが互いに連携することで、災害時の大きな力となります。

「自助」とは、自分の身を自分の努力によって守る事です。

- 例えば
- ・非常用物資の備蓄や家具の転倒防止など、日頃から家庭で備える
 - ・防災に関する知識や経験を身に付ける



「公助」とは、国や都道府県、市町村、消防機関、警察、自衛隊など公的な機関による救助・援助などのことです。

- 例えば
- ・けが人の救出やがれきの撤去、避難所の開設、炊き出しを行う
 - ・救援物資の受け入れ・配送や仮設住宅の建設をする



自助

公助

共助

地域防災力

「共助」とは、地域や近隣の人が互いに協力し合うことです。

- 例えば
- ・高齢者や障害のある人など、配慮が必要な人の避難を手伝う
 - ・地域の人々の避難誘導をする
 - ・けが人や病人の救護を手伝う



「自助」は、自分の命は自分で守ることを普段から意識してほしいですね。そのことが『共助』にもつながります。

群馬県は安全だという意識を払拭し、自分の命は自分で守ることを普段から意識してほしいですね。そのことが『共助』にもつながります。

群馬県は安全だという意識を払拭し、自分の命は自分で守ることを普段から意識してほしいですね。そのことが『共助』にもつながります。

群馬県は安全だという意識を払拭し、自分の命は自分で守ることを普段から意識してほしいですね。そのことが『共助』にもつながります。

継続した備えを



飯塚宗夫さん

いざというときのために、日頃から何をすればよいのでしょうか。防災の専門知識や技能を持ち、防災意識の啓発などを行う、日本防炎士会群馬県支部長の飯塚さんにお聞きしました。

自助
自分の身を自分で守る

ぐんまちゃんの防災メモ



災害情報はどこから得られるの？

災害全般の情報 県ホームページ「防災トップページ」(<http://www.pref.gunma.jp/05/a5510001.html>)

河川や道路の情報 県が管理する道路の通行規制などの情報を入手したり、県内の河川や道路の状況をライブカメラで見たりすることができます。

県土整備部防災情報 (<http://www.kendobousai-gunma.jp/gismap/index.html>)



スマートフォンで見られる県水位雨量情報システムの画面



災害が発生したときの避難はどのようにしたらいいの？

市町村が発表する避難準備情報(28年12月に名称変更)を防災無線の他、インターネット、スマートフォンなどでも入手することができるので、適切に行動してください。

◆家族の連絡先

家族の名前	連絡先(勤務先・学校)	電話番号	携帯電話番号

◆避難場所

一時避難場所	家族が離れ離れになったときの集合場所

◆非常用持ち出し品・非常用備蓄品チェックリスト(一例)

- ◆避難時にすぐに取り出せる非常用持ち出し品
 - 携帯ラジオ 預金通帳・印鑑 現金 懐中電灯・予備の電池
 - ライター ナイフ・缶切り 手袋 タオル マスク
 - 医薬品 身分証明書のコピー 下着類 生理用品 水・食料
- ◆復旧までの数日間(約3日間)に必要な非常用備蓄品
 - トイレ用紙 ガスコンロ 家族約3日分の水・食料
 - シャンプー・せっけん 救急薬品 歯ブラシ 毛布
 - ブルーシート ビニール袋 筆記用具
- ◆自分や家族に合ったもの
 - 粉ミルク おむつ 哺乳瓶 眼鏡 補聴器 防寒着

避難準備・高齢者等避難開始

- ・避難に時間を要する人(高齢者、障害のある人など)とその支援者は避難を始めましょう
- ・その他の人は避難の準備をしましょう

避難勧告

- ・速やかに避難しましょう
- ・外出するとかえって危険な状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう

避難指示(緊急)

- ・まだ避難していない人は、直ちに避難しましょう
- ・外出するとかえって危険な状況では、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう

共助 地域で助け合おう

「ぐんま地域防災アドバイザー」は、防災士資格を取得し、市町村と協働して地域の自主防災組織のリーダーをサポートする県独自の制度です。29年8月現在、県内で115人が登録しています。地域防災力を向上させるため、県は31年度までに350人のアドバイザーの養成を目標としています。

身近な人を守るために

28年度に養成講座を受講し、現在「ぐんま地域防災アドバイザー」として活躍する中澤さんに、今後の抱負を伺いました。



なかざわ ゆうこ 中澤優子さん (高崎市)

「防災に関心を持つきっかけとなったのは東日本大震災です。震災後に被災地と同じ大きさの揺れを地震車で体験し、身動きができないことを痛感しました。子どもが生まれてからは、災害時にこの子を守るだろうかと不安もあり、本格的に防災の勉強を始めました。」

『ぐんま地域防災アドバイザー防災士養成講座』では、受講の過程で防災士の資格を取得でき、また群馬県の災害の特徴について詳しく知ることができたので良かったです。

それが縁で、避難所の運営訓練を見学することができ、自分や家族を助けるだけでなく、地域で助け合う『共助』の大切さも分かりました。地域の人にも防災の大切さを知っ

てほしいので、将来は親子向けの防災講座を定期的に開くのが目標です。そのときは多くの人に参加してもらえるよう、身近な所で短時間で開催するなどの工夫をしたいと思っています。防災知識を持つ人が地域に増え、自治会などと協力することで、実際に災害が起きたときに速やかな避難につながれると思います。

今後も防災の知識や経験を増やしたいというときに地域の役に立ちたいです。またアドバイザーの活動がより活発にできるよう、県にはアドバイザー同士が連携できる環境づくりをしてもらえるといいですね」



手作りの「気づきマップ」

「ぐんま地域防災アドバイザー防災士養成講座」受講者を募集します

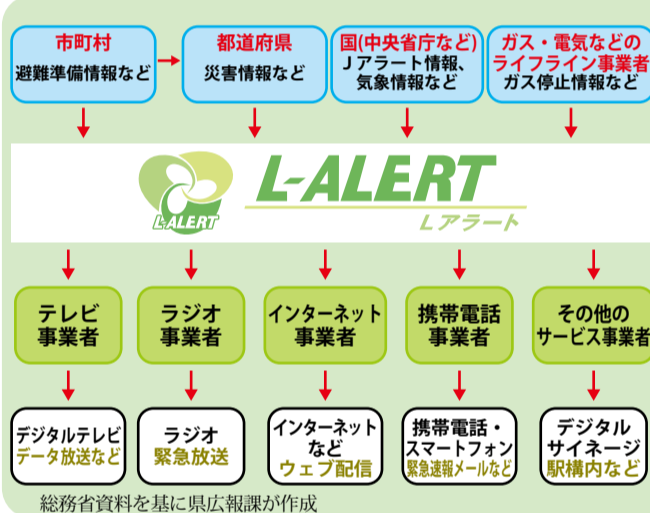
日程 12月16日(土)、17日(日) 時間 午前9時～午後6時 会場 高崎市総合保健センター(高崎市高松町)

対象 自主防災組織の役員、消防団員、地域防災に関心のある人で、市町村からの推薦を受けた人 定員 105人(先着順) 受講料 1万1千円

申込期間 9月25日(月)～10月23日(月) 申し込み方法 所定の申込用紙 申込用紙配布場所 県庁危機管理室、市役所・町村役場防災担当課 県庁危機管理室(☎・FAX下記)

公助 情報提供を充実させる

Lアラート®は、国や地方公共団体などが発信した災害に関する情報を、テレビやラジオ・インターネット事業者に自動的に一斉配信できるシステムです。これにより、住民は多様なメディアを通じて迅速・確実に情報を得ることができ、情報発信者、情報伝達者、地域住民



多くの人に速く伝える

Lアラート®活用の利点について、県庁危機管理室の行方情報通信係長にお聞きしました。



なめかたまこと 行方真実さん

「Lアラート®は、19年の新潟県中越沖地震や23年の東日本大震災の時、メディアにより情報が異なったり、住民への情報伝達が不十分だったりしたことを教訓に、総務省の提

言により開発されました。8月から県と全市町村で運用を開始しています。従来は、行政機関やライフライン事業者などの情報発信者が複数のマスメディアに個々に情報を発信していたため、迅速さや正確さに欠ける場合がありました。 今後は、情報発信者がLアラート®に発信するだけで複数のマスメディアに一斉配信できます。住民は、テレビやラジオ、スマートフォンのアプリなど、さまざまなメディアから情報を迅速に得ることができます。 県は、関係機関と連携してLアラート®が円滑に機能するよう努めていきます。県民の皆さんには、災害情報を入手した場合、必要に応じてさらに詳しい情報を収集し、適切な判断・行動をしてほしいですね」

緊急消防援助隊の関東ブロック合同訓練を実施します

緊急消防援助隊は、大規模災害が発生したときに被災地から要請を受け、都道府県の枠を越えて防災ヘリや緊急車両で駆け付ける、消防の応援部隊です。現在、全国で5826隊、県内で94隊が登録されています。東日本大震災や関東・東北豪雨では、本県からも出動しました。 毎年実施している関東ブロック(1都9県)合同訓練を、今年度は10月24日(火)、25日(水)に前橋・高崎・桐生・太田市で実施します。



栃木県での昨年度の訓練の様子

ご利用ください

自力での避難が困難な人を守るための「土砂災害警戒避難確保計画作成の手引き」 28年8月の台風第10号による河川の氾濫で、岩手県のグループホームで逃げ遅れによる死者が出ました。これを機に要配慮者利用施設の警戒避難体制の整備が進められています。 6月に「土砂災害防止法」が改正され、土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の所有者または管理者に対し、避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務付けられました。 そこで県では「要配慮者利用施設における土砂災害警戒避難確保計画作成の手引き」を作成しました。 ※県ホームページ(http://www.pref.gunma.jp/06/h46g_00001.html)からご覧になれます

募集しています

「ぐんま消防団応援の店」登録店舗 県では、仕事を持ちながら地域のために活動している消防団員を地域を挙げて応援するため、消防団員に優遇サービスを提供する「ぐんま消防団応援の店」を募集しています。 サービス内容 料金の5%引きなど 登録方法 所定の申請用紙 申請用紙入手先 県ホームページ (http://www.pref.gunma.jp/05/a55g_00005.html)

県庁消防保安課(☎027・897・2686 FAX027・221・0158)



インフォメーション INFORMATION

県ホームページ
<http://www.pref.gunma.jp/>

問い合わせの際は、番号を間違えないようにお願いします

☎は問い合わせ先、☎は申込先、☎は相談先、✉はEメールアドレス、🌐はホームページです

*印の施設では、障害者手帳などをお持ちの方とその介護者(1人)は無料です。証明できるものをお持ちください

9月は「認知症理解促進月間」です

9月21日の「世界アルツハイマーデー」にちなみ、県では9月を「認知症理解促進月間」としています。期間中は講演会などを開催し、認知症に関する正しい知識と理解の促進を図ります。

認知症は特別な病気ではなく、誰もが発症する可能性のある病気です。認知症の人と家族が住み慣れた地域で暮らすことができる社会を目指して、認知症への理解を深めてみませんか。

【世界アルツハイマーデー記念講演会】

- 期日** 9月17日(日)
- 時間** 午後1時～4時
- 会場** 県社会福祉総合センター(前橋市新前橋町)
- 内容** 「認知症を、認知症疾患医療センターをよく知ろう」をテーマに、県認知症疾患医療センター医師などによるシンポジウムを開催します



- 定員** 300人(先着順)
- 費用** 無料
- 申し込み方法** ファクスまたはEメール。代表者の氏名・勤務先・職種、参加人数を記入してください
- ☎・☎** 認知症の人と家族の会群馬県支部 (☎027-289-2740 ☎027-289-2741 ✉misato@xp.wind.jp)

【認知症コールセンターをご利用ください】

- 認知症の人や家族などの相談に応じています。気軽にご利用ください。
- 相談日** 月～金曜日 ※祝日を除く
 - 時間** 午前9時～午後5時
 - 相談内容** 認知症の介護などに関する相談
 - 相談方法** 電話
 - 費用** 無料
 - ☎・☎** 認知症コールセンター (☎027-269-4432 ☎027-264-3522)

「ぐんまマラソン」の開催と交通規制のお知らせ

- 期日** 11月3日(金)
- 競技時間** 午前9時～午後3時
- メイン会場** 正田醤油スタジアム群馬(前橋市敷島町)
- 内容** 県内外から1万5千人が参加する県内最大のマラソン大会。「フルマラソン」「10kmマラソン」「リバーサイドジョギング(約4.2km)」の3種目があります
- 交通規制** 午前8時頃から午後3時頃にかけて、前橋市・高崎市で選手の通過に合わせて実施します。コース沿線や周辺道路は混雑が予想されます。規制時間や迂回路など詳しくは「ぐんまマラソン」ホームページ(<https://www.g-marathon.com/>)をご覧ください
- ☎** ぐんまマラソン実行委員会事務局 (☎027-254-4992 ☎027-254-5994)



昨年のフルマラソンのスタート

ロングトレイルの名称が「ぐんま県境稜線トレイル」に決定!

県が整備を進めているロングトレイルの名称が「ぐんま県境稜線トレイル」に決定し、8月11日に開催された「山の日記念 21世紀の森まつり」で発表となりました。

【ぐんま県境稜線トレイルおすすめルートマップ】をご利用ください

- 内容** 全5エリアごとのおすすめルートや周辺温泉地、周辺観光情報の紹介
- 規格** A4判 16頁 フルカラー
- 配布場所** 県庁県民センター、県行政県税事務所、ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」(東京都中央区銀座)、県東京事務所(千代田区平河町)、県大阪事務所(大阪市北区梅田)、県名古屋事務所(名古屋市中区栄)、中之条町役場、嬭恋村役場、草津町役場、みなかみ町役場、中之条町観光協会、四万温泉協会、嬭恋村観光協会、万座温泉観光協会、草津温泉観光協会、みなかみ町観光協会、その他周辺観光施設
- ☎** 県庁スポーツ振興課 (☎027-226-2081 ☎027-224-8780)



県議会「第3回前期定例会」

9月20日(水)に開会し、本会議と委員会は、誰でも簡単な手続きで傍聴できます。

【日程・議事予定】

日程	議事予定	日程	議事予定
9月 20日(水)	本会議(開会・提案説明)	10月 5日(水)	特別委員会
25日(水)	本会議(質疑および一般質問)	11日(水)	本会議(委員長報告・議決・決算提案説明)
26日(木)	本会議(質疑および一般質問)	16日(水)	決算特別委員会(分科会)
28日(金)	本会議(質疑および一般質問)	17日(木)	決算特別委員会(分科会)
10月 2日(土)	常任委員会	24日(水)	決算特別委員会(総括質疑・採決)
3日(日)	常任委員会	11月 2日(水)	本会議(決算委員長報告・議決)

- 開会時刻** 午前10時(予定) **費用** 無料
- 申し込み方法** 当日、直接会場にお越しください
- その他** 本会議と決算特別委員会総括質疑は、県議会ホームページ(<http://www.gunma-pref.stream.jfit.co.jp/>)からご覧になれます。また質疑および一般質問は、群馬テレビでも生中継します
- ☎** 県議会事務局政策広報課 (☎027-897-2892 ☎027-243-4211)

東国文化体験キャンプの参加者募集

- 日程** 10月28日(土)～29日(日) 1泊2日
- 会場** 黒井峯遺跡(渋川市中郷)
- 内容** 古代料理作りや埴輪作りなどの体験、星空観賞(天候により異なります)など
- 対象** 小学生とその保護者 ※家族として中学生も参加できます
- 定員** 20組(申し込み多数の場合は抽選)
※1組5人まで、1組当たりテント1張り
- 費用** 一般=5千円、中学生以下=2,500円(食事代、体験プログラムの費用など)
- 申込期間** 9月19日(火)～10月6日(金)
- 申し込み方法** 郵送、ファクスまたはEメール。代表者の住所・氏名・電話番号、参加人数(一般、中学生、小学生の内訳)をお知らせください
- ☎・☎** 県庁文化振興課 (☎371-8570 ☎027-226-2525 ☎027-221-0300 ✉bunshinka@pref.gunma.lg.jp)



黒井峯遺跡

お知らせ

30・31年度の競争入札に参加を希望する事業者の資格申請を受け付けます

ぐんま電子入札共同システムの共同利用参加団体では、団体ごとに30・31年度の入札参加資格者名簿を作成します。

競争入札に参加を希望する事業者は、申請情報を登録してください。
対象 参加団体の競争入札に参加を希望する事業者

※28・29年度の入札参加資格者名簿に登録されている事業者を含みます
受付期間

- ・物品・役務 10月2日(月)～31日(火)
- ・建設コンサル 12月4日(月)～22日(金)
- ・建設工事 30年1月4日(木)～29日(月)

※いずれも必着
申し込み方法 ぐんま電子入札共同システムに登録の上、郵送
※システムの稼働時間：月～金曜日

知事コラム

「紅い襷〜富岡製糸場物語」



映画の完成披露試写会(6月25日)に出席した大澤正明知事

先日、世界遺産登録3周年記念事業として富岡市が制作した映画「紅い襷〜富岡製糸場物語」の完成披露試写会に行ってきました。この映画は、明治初期に日本の近代化をけん引した富岡製糸場の生糸生産を支えた若き工女たちの

の午前9時～午後7時(祝日を除く)

※詳しくは、ぐんま電子入札共同システムポータルサイト (<https://portal.gunma-jp>) をご覧ください

【申請先】 県庁建設企画課内 〒371-8570 群馬県庁 3533 FAX 027-224-1426

不動産合同公売を実施します

県と市町村が差し押さえた不動産を売却し、滞納した税に充てる合同公売を実施します。

【中部地区】

期日 11月28日(火)

会場 県地域防災センター(前橋市上細井町 県前橋合同庁舎敷地内)

【問】 県前橋行政県税事務所 (☎027-234-1814 FAX 027-234-3345)

【西部地区】

期日 11月24日(金)

会場 高崎市役所(高崎市高松町)

物語です。

私はこの映画を見て、心から感動しました。一等工女が身に着ける紅い襷を目標に、全国から集まった工女たちが頑張る姿や、近代国家を作り上げるために大きな原動力となった富岡製糸場とその存在価値、世界と富岡製糸場との関わりなど、その全てを映画が伝えてくれています。

10月7日から県内2カ所の映画館で、12月2日から東京都渋谷区の映画館でも上映されますので、ぜひ多くの人に映画を見てほしいと思います。また子どもたちには、富岡製糸場がどのように世界に貢献し、日本が近代化を成し遂げたのかを、映画を通して学んでもらいたいと思います。

【問】 県高崎行政県税事務所 (☎027-322-6297 FAX 027-326-7076)

【吾妻地区】

期日 11月29日(水)

会場 中之条町役場(中之条町中之条町)

【問】 県吾妻行政県税事務所 (☎0279-75-4602 FAX 0279-79-75-3300)

【利根沼田地区】

期日 12月1日(金)

会場 県利根沼田振興局庁舎(沼田市薄根町)

【問】 県利根沼田行政県税事務所 (☎0278-22-4336 FAX 0278-24-3306)

【東部地区】

期日 11月22日(水)

会場 県太田合同庁舎(太田市西本町)

【問】 県太田行政県税事務所 (☎0276-31-5316 FAX 0276-31-5316)

【共通事項】

受付開始時刻 午後1時
その他

・公売が実施されない場合もあります。詳しくは、お問合わせください。
・一般的な内容について詳しくは、県ホームページ (<http://www.pref.gunma.jp/04/a4310031.html>) をご覧ください

募集

「未来の家族への手紙コンクール」作品

10年後や20年後の未来を想像し、将来のパートナーや生まれてくる子どもなど、それぞれが思い描く未来の家族に宛てたメッセージを募集します。
テーマ いつか会おう「あなた」に、届けたい思い

対象 県内に在住または在学し、次のいずれかに該当する人

- ・中学生(中等教育学校前期課程・特別支援学校中学校の生徒を含む)
- ・高校生(中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部・高等専門学校の生徒を含む)
- ・大学生など(高等専門学校・短期大学・大学院・各種専門学校の生徒・学生、学生以外の30歳未満の独身者を含む)

募集規定 600字以上千字以内。作品に題名、住所、氏名、学校名、学年(社会人の場合は職業、年齢)、電話番号を記入してください

賞 最優秀賞(中学生1人、高校生1人、大学生など1人)、優秀賞(6人程度)、優良賞(15人程度) ※賞状と記念品を授与します

※応募者全員に参加賞を差し上げます
応募期限 9月15日(金)必着
応募方法 所定の応募用紙
応募用紙入手先 県ホームページ (<http://www.pref.gunma.jp/03/bw0100011.html>)、県結婚・子育て応援ポータルサイト「ぐんまスマイルライフ」(<http://smilelife.pref.gunma.jp/>)

【問】 県庁子ども政策課 (☎027-897-2725 FAX 027-226-2100)



募集チラシ

心臓血管センター「心臓病予防ヘルスアップ教室(いなかほコース)」

日程 10月3日～12月26日の火または金曜日(全12回)
時間 午後1時～4時
会場 県立心臓血管センター(前橋市亀泉町)

内容 医師や健康運動指導士、管理栄養士、薬剤師などの医療スタッフによる健康教室。1時間の講義と2時間の運動実習をします

対象 メタボリック症候群が気になる20歳以上の人
定員 15人(先着順)
費用 3万5千円(医師の問診、運動負荷テスト、血液検査料、運動指導料など)

申込期限 9月12日(火)
申し込み方法 電話またはファクス。住所、氏名、生年月日、電話番号をお知らせください

【問】 県立心臓血管センター (☎027-269-7455 FAX 027-269-1492)



活動の様子

スクールカウンセラー

いじめや不登校など学校生活における問題の解決に資することを目的に、県内の公立小・中学校・中等教育学校、県立高等学校に配置するスクールカウンセラーを募集します。

勤務期間 30年4月2日～31年3月8日
対象 30年4月1日現在、69歳以下で心身ともに健康な、次のいずれかに該当する人

- ・臨床心理士または精神科医
- ・児童・生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識および経験があり、

学校教育法第1条に規定する大学の学長、副学長、学部長、教授、准教授、常勤講師、助教の職にある、またはあった

・大学院修士課程を修了し、1年以上の心理臨床業務または児童・生徒を対象とした相談業務の経験がある

・大学または短期大学を卒業し、5年以上の心理臨床業務または児童・生徒を対象とした相談業務の経験がある

・医師で、1年以上の心理臨床業務または児童・生徒を対象とした相談業務の経験がある

選考方法 書類選考、面接
申込期間 10月2日(月)～16日(月)
申し込み方法 所定の申込用紙
申込用紙配布場所 【問】 県庁義務教育課 (☎027-226-4619 FAX 027-243-7759)

※申込用紙は、県ホームページ (http://www.pref.gunma.jp/03/x23g_0001.html) から入手できます

試験

農林大学校推薦入校試験

試験日 10月29日(日)
合格発表日 11月15日(水)
試験会場 県立農林大学校(高崎市箕郷町)

学科・コース・募集人員

- ・農業経営学科野菜コース：16人程度
- ・農業経営学科花き・果樹コース：12人程度
- ・農業経営学科酪農肉牛コース：12人程度
- ・農林業ビジネス学科農と食のビジネスコース：20人程度
- ・農林業ビジネス学科森林コース：16人程度

修業年限 2年(1年生は全寮制、2年生は原則として通学)

試験内容 小論文、面接

受験資格 県内の高等学校・中等教育学校の後期課程、または県内に居住し、県外の高等学校・中等教育学校の後期課程を30年3月までに卒業見込みの人

一般推薦：農林業に対する熱意があり、成績が評定平均値3.0以上もしくは日本農業技術検定3級以上の合格者で、学校長が推薦する人

出願期間 10月2日(月)～13日(金)

出願方法 所定の出願用紙

出願用紙配布場所 県立農林大学校 県農業事務所(地区農業指導センター)、県環境森林事務所、県森林事務所

※農林大学校ホームページ (http://www.gunma-iaf.ac.jp) から入手できます

※出願用紙の郵送を希望する人は、1400円分の切手と郵便番号、住所氏名を明記した用紙を同封して請求してください

出願用紙請求先 県立農林大学校 (〒370-3105 高崎市箕郷町西明屋1005 ☎027-371-7132244 FAX027-371-6968)

県立学校実習助手・寄宿舎指導員採用試験

試験日 筆記試験：10月31日(火)

面接試験など：筆記試験の通過者に通知

試験会場 県庁(前橋市大手町)など

職種・採用人数 実習助手(工業助手)：1人程度

※主に電気系を担当 寄宿舎指導員：3人程度

試験内容 筆記試験：一般教養、専門、小論文

※特別選考試験受験者は、専門、小論文

面接試験など：適性検査、実技、面接

※実技は実習助手だけ

受験資格 一般受験者 次の全てに該当する人

昭和48年4月2日から平成12年4月1日までに生まれた人

高等学校(中等教育学校後期課程を含む)を卒業した(30年3月31日までに卒業見込みを含む)

工業助手特別選考試験受験者 次の全てに該当する人

昭和43年4月2日から63年4月1日までに生まれた人

高等学校(中等教育学校後期課程を含む)を卒業した

現在、民間企業などに正規職員として勤務している

平成30年3月31日時点で、同一の民間企業などに継続して10年以上勤務した経験があり、熟練した技能を有する

出願期間 9月7日(木)～22日(金)

出願方法 所定の出願用紙

出願用紙配布場所 県庁学校人事課 (☎027-226-4597 FAX027-243-7759)

催し

ロシアフェスティバルin群馬

期間 9月8日(金)～10日(日)

時間 午前10時～午後6時

※10日は4時まで

会場 県庁(前橋市大手町)

内容 ロシアに関する展示や発表、食品の販売など

費用 無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

「救急の日」記念講演会

9月9日の「救急の日」を含む1週間は「救急医療週間」です。これにちなみ、講演会を開催します。

期日 9月8日(金)

時間 午後2時30分～4時

会場 高崎市市民活動センター・ソシアス(高崎市足門町)

演題・講師 救命限界に挑戦する 萩原周一(群馬大学大学院救急医学講師)

馬大生 活躍する女性救命士 十河基樹(太田市消防本部警防課救急係消防司令補)

定員 200人(先着順)

受講料 無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

県庁医務課 (☎027-226-2534 FAX027-223-0531)



昨年の様子

群馬の地酒フェアinぐんまちゃん家

日程 9月30日(土)、10月1日(日)

時間 午前11時～午後6時30分

※1日は6時まで 会場 ぐんま総合情報センター「ぐんまちゃん家」(東京都中央区銀座080-3739-6485 FAX027-381-5571)

内容 群馬の地酒の試飲・販売

入場料 無料

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

県酒造協同組合 (☎027-261-3131 FAX027-261-3838)

県庁工業振興課 (☎027-226-3358 FAX027-221-3191)



地酒の試飲

森林ボランティア体験会

期日 10月15日(日)

時間 午前10時～午後3時30分

会場 県森林学習センター(渋川市伊香保町)

内容 森林整備体験、森林整備について

の講義、県内森林ボランティア団体の紹介

定員 30人(先着順)

費用 無料

申し込み方法 所定の申込用紙

申込用紙配布場所 県森林ボランティア支援センター(渋川市伊香保町)、県庁緑化推進課、県環境森林事務所

県森林事務所 ※県森林ボランティア支援センターホームページ (http://www.morino.wapref.gunma.jp) から入手できます

県森林ボランティア支援センター (☎0279-72-3220 FAX0279-72-3045)

9月10日(日)発売予定 定価360円(税込み) 販売場所：県庁県民センター、県内取扱書店

「ぐんま広報」電子書籍版のお知らせ

ぐんま一番 群馬テレビ 毎週金曜日 午後7時30分

ガスパクサツ群馬試合情報

群馬ダイヤモンドペガサス試合情報

群馬交響楽団定期演奏会情報

チケットプレゼント クロスワードパズルの正解者の中から抽選で、ガスパクサツ群馬(10月15日東京ヴェルディ戦)、群馬交響楽団定期演奏会(11月25日)のチケット(2枚組み)をそれぞれ5人にプレゼントします。

美術館・博物館 などの催し

ぐんま昆虫の森季節展 「秋の野山の昆虫展」*

会期 10月29日(日)まで
※月曜日(9月18日)、10月9日を除く)、9月19日(火)、10月10日(火)は休園
時間 午前9時30分〜午後5時(入園は4時30分まで)
会場 県立ぐんま昆虫の森(桐生市新里町)

内容 バッタやカマキリ、トンボなどの、秋に見られる昆虫について、生態展示やパネルで紹介します
入園料 一般11410円、大学・高校生11200円、中学生以下11無料
☎0277・74・6441
FAX 0277・74・6466



オオカマキリ

日本絹の里特別展「群馬のシルクアーティスト2人展 大竹夏紀・寺村サチコ」*

会期 9月6日(水)〜10月16日(月)
※火曜日休館
時間 午前9時30分〜午後5時
会場 県立日本絹の里(高崎市金古町)
内容 本県を代表する2人の若手アーティストの展示会です。ろうけつ染めで独自のアイドル像を描く大竹夏紀、絞り染めと型染めで立体造形物を制作し、女性の持つ美しさをその裏に潜む毒を表現する寺村サチコの作品を紹介します

観覧料 一般11200円、大学・高校生11000円、中学生以下11無料
☎027・360・6300
FAX 027・360・6301



左:大竹夏紀「ILLUMINATED GIRL #5」、右:寺村サチコ「多分まだ、花は咲かない」

自然史博物館サイエンス・サ タデー「アンモナイト化石レ プリカに色つけをしよう」



色付けをしたレプリカ

日程 9月9日、16日、23日、30日(いずれも土曜日)
時間 午後2時〜3時(受け付けは1時30分から)
会場 県立自然史博物館(富岡市上黒岩)
内容 アンモナイトは中生代を生き残った軟体動物で、その時代の代表的な示準化石です。アンモナイトについて学んだり、アンモナイトの化石のレプリカに色付けをしたりします

講師 当館職員、ボランティア
対象 小学生以上の人
※小学3年生以下は保護者の付き添いが必要
定員 各30人(先着順)
費用 無料
申し込み方法 当日、直接会場にお越しください
☎0274・60・1200
FAX 0274・60・1250

近代美術館企画展示「The Art Show ータグ チ・アートコレクションに みるミレニアムの美術ー」*

会期 9月16日(土)〜11月12日(日)
※月曜日(9月18日)、10月9日を除く)、9月19日(火)、10月10日(火)は休館
時間 午前9時30分〜午後5時(入館は4時30分まで)
会場 県立近代美術館(高崎市綿貫町)
内容 現代美術において日本有数のコレクションである「タグチ・アートコレクション」を展示します。
最新の収集作品を含む約60点を公開し、世界の現代美術がグローバル化していった一端を紹介します
観覧料 一般11820円、大学・高校生11410円、中学生以下11無料
☎027・346・5560
FAX 027・346・4064



上:澤田知子《FACIAL SIGNATURE》(部分) ©Sawada Tomoko. Courtesy MEM
右:ハイヴ・カラマン《ローカル・ゲーム》©Hayv Kahraman. Courtesy of the artist and Jack Shainman Gallery, New York.

ぐんまフラワーパーク 「秋バラフェスタ」*

会期 9月23日(土)〜10月15日(日)
時間 午前9時〜午後5時(入園は4時30分まで)
会場 ぐんまフラワーパーク(前橋市柏倉町)
内容 香りが楽しめるバラを中心に、世界各国のバラや「スタンダードローズ」を楽しめます
入園料 一般11600円、中学生以下11無料
フリーダイヤル0120・1187・38
☎027・283・8389
FAX 027・283・8389



昨年の「秋バラフェスタ」

館林美術館企画展示「鹿島 茂コレクション フランス 絵本の世界」*

会期 9月23日(土)〜12月24日(日)
※月曜日(10月9日を除く)、10月10日(火)は休館
時間 午前9時30分〜午後5時(入館は4時30分まで)
会場 県立館林美術館(館林市日向町)
内容 フランス文学者である鹿島茂の西洋の稀覯書コレクションから、愛らしく美しいフランス絵本を初公開します。児童書の名作が誕生した19世紀後半から20世紀前半までの作品を中心に展示します

県民リポーターだより

アガパンサスの花

目黒将夫さん(前橋市)
7月上旬にムラサキクンシランの青い花が咲きました。この花はアガパンサスとも呼ばれ、雨に強く、水にぬれても凛としています。

ある日、夕立がありました。アガパンサスも雨にぬれ、花びらには水滴が付いていました。よく見ると、その水滴の中にアジサイの花が映っていました。



アガパンサスの花

歴史博物館「グランドオープ ン記念企画展「海を渡って 来た馬文化」ー黒井峯遺跡 と群れる馬ー」*



左:馬形埴輪(伝群馬県)、右:鏡板付轡(滋賀県新開1号墳出土)



ジャン・ド・ブリュノフ『パバールの新婚旅行』1932年より©NOEMA Inc.Japan

観覧料 一般11820円、大学・高校生11410円、中学生以下11無料
☎0276・72・8188
FAX 0276・72・8338
※月曜日(10月9日を除く)、10月10日(火)は休館
時間 午前9時30分〜午後5時(入館は4時30分まで)
会場 県立歴史博物館(高崎市綿貫町)
内容 群馬が古代東国の中心地として栄える要因となった馬。朝鮮半島から日本列島に渡来し、黒井峯(渋川市)に花開いた馬文化の実像に迫ります
観覧料 一般11800円、大学・高校生11400円、中学生以下11無料
☎027・346・5522
FAX 027・346・5534



イベント情報

※県観光情報誌「ググっとぐんま (夏特集号)」に掲載されている主なイベントを紹介します。
詳しくはお問い合わせください
※内容が変更になることがありますので、お出掛けの際はご確認ください

名称	日程・時間	会場	内容	費用	問い合わせ先
谷川岳ロープウェイ「天空のナイトクルージング」	9月、10月の金・土曜日、9月17日(日)、10月8日(日) 午後7時～9時	天神平ロープウェイ (みなかみ町湯楡)	特別運行の「夜のロープウェイ」で標高1300mまで上るクルージングが楽しめます	一般=2,500円、小学生=1,300円、小学生未満=無料	みなかみ町観光協会 ☎0278-62-0401 FAX0278-62-0402
揚舟 谷田川めぐり	10月29日(日)までの土・日曜日、祝日 午前10時～午後4時	群馬の水郷 (板倉町岩田)	板倉の伝統文化である揚舟の上から、ゆったりと心休まる風景を楽しめます	一般=千円、小学生以下=無料	板倉町産業振興課 ☎0276-70-4040 FAX0276-70-4041 ※当日の運航状況(午前8時30分～午後4時) ☎0276-82-1111
頑張るぐんまの中小私鉄フェア	9月10日(日) 午前9時30分～午後3時	上信電鉄本社、車両検修場 (高崎市鶴見町)	鉄道グッズの販売会や運転シミュレーター体験、ミニトレインの運行などをを行います	無料	上信電鉄 ☎027-323-8073 FAX027-323-8650
いせさき花火大会	9月16日(土) 午後6時30分～7時30分	ラブリバー親水公園うめき (伊勢崎市安堀町)	多彩なスターマインと音楽の競演が楽しめます	無料	伊勢崎市文化観光課 ☎0270-24-5111 FAX0270-21-3352
老神温泉そば祭り	9月23日(土)、24日(日) 午前11時～午後3時 (入場は、2時30分まで)	利根観光会館 (沼田市利根町)	そば打ち認定大会や写真展示、地元産のそば粉を使ったそばや物産の販売などをを行います	無料	利根町観光協会 ☎0278-20-5050 FAX0278-56-3350

おたよりコーナー



クロスワードパズルへの応募はがき・メールを紹介します

◆私の住まいの近くにも、いくつかの古墳があることは知っていましたが、調べてみるとたくさん古墳があることに驚きました。

普段、あまり意識して見たことはありませんでしたが、千年以上も昔に造られたものが身近にあることに、群馬の歴史と文化をあらためて感じることができました。
(富岡市 39歳)

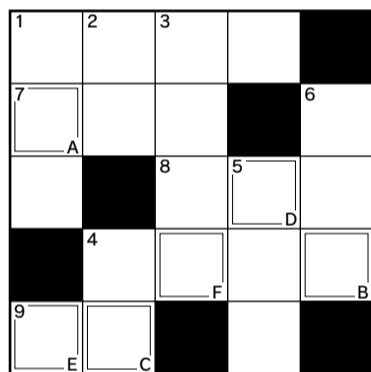
◆活字から情報を得ることが大好きな私は、県内のことは、ほぼぐんま広報からです。分かりやすく丁寧に紹介されていて、新聞とはまた違い、毎月楽しみです。

8月号の特集は「古墳女子」の私にとって大事な保存版です。
(嬭恋村 66歳)

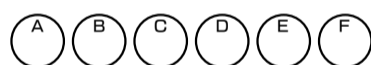
※掲載された人には、ぐんまちゃんのおぬいぐるみをプレゼントします

クロスワードパズル

正解者の中から抽選で「県有施設の無料ご招待券(2枚組み)」などを各5人にプレゼントします



答え:A~Fを順番に並べると?



たてのかぎ

- 1 種子植物の雄性的配偶体。春に大量に飛散し、アレルギーの原因になる
- 2 商品を並べて売る所。商店
- 3 他人の人格・行為などを尊び、敬うこと
- 4 アルファベットの19番目
- 5 他のものに頼ること。親に○○○する
- 6 ショ糖を主成分とする甘味料。テンサイなどが原料

よこのかぎ

- 1 髪やひげなどをそるのに使う鋭利な刃物
- 4 光の屈折や反射などによって映し出された物の形や姿。また映画やテレビに映し出された画像
- 7 用件を書いて目印のために貼る小さい紙
- 8 動物の毛を紡いで作った糸。いろいろな編み物に使われる
- 9 燃料用の気体。天然○○、石炭○○など

応募方法 はがき、Eメールまたは「ぐんま電子申請受付システム」。

①パズルの答え②郵便番号③住所④氏名(ふりがな)⑤年齢⑥今月のぐんま広報へのご意見・ご感想⑦希望の賞品名を書いてください (Eメールは件名に「クロスワードパズル9月」と記入してください)

応募先
・はがき 〒371-8570 群馬県庁広報課クロスワードパズル係
・Eメール crossword@pref.gunma.lg.jp
・電子申請 <http://www.shins.ei.elg-front.jp/gunma/navi/index.html> (携帯電話用ホームページのURLは右図から読み取れます)



応募期限 9月13日(水)消印有効
※Eメール、電子申請は13日送信分まで

賞品 次の中から希望のものを明記してください
近代美術館、館林美術館、歴史博物館、自然史博物館、土屋文明記念文学館、日本絹の里、ぐんまフラワーパーク、ぐんま天文台、ぐんま昆虫の森、ぐんまちゃんトートバッグ、ぐんまちゃんグッズ、サスパクサツ群馬(10月15日東京ヴェルディ戦)、群馬交響楽団定期演奏会(11月25日)

※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます

編集室だよ!

特集の取材で「群馬は安全だと思込んでいる人が多い」と聞き、はっとしました。

私も「自分の地域は大丈夫だろう」と思い、今まで災害への特別な備えをしていませんでした。これを機に、まずは備蓄品をそろえることにしました。

しかし、物を準備するだけでなく、知識を身に付けておくことも必要です。例えばズボンでリュックサック、キッチンペーパーでマスクを作る方法があるそうです。

紙面では紹介できませんでしたが、ぜひ作り方を調べてみてください。いざというときに役立ちます。(磯貝)